

令和5年度 下水道維持管理業務取組み発表会  
発表概要

所属 矢部川浄化センター
発表タイトル 汚泥脱水機故障時の対策について
取組の目的 矢部川浄化センターの汚泥脱水機は、供用開始以来、ロータリープレス型脱水機を使用しており、使用開始より17年が経過している。昨今、整備は行っているが故障も頻発しており、2台のうち1台整備を行っているバックアップが出来ない状態となる。 不測の事態を考えると、2台の脱水機が故障した際の初動対応や恒久的な対応を考えておく必要があるため、今回検討を行うもの。
取組内容 ○脱水機の不具合等により、脱水工程が出来なくなったことを想定する。 ○脱水できない場合の影響 ○代替手段の検討（初動対応・恒久的対応） ○費用についての調査 ○非常時に処理場でできることの考察
取組成果・効果 ○初期対応を行っている約10日間のうちに、短期ならば移動脱水機、それ以上は脱水機（リース）など、状況に応じ選択し、実行しないとイケない。 ○規模は少量であるが、人力で70%後半の脱水汚泥を絞れることが分かった。 ○絞るためには遠心で回すよりも何かの圧力を使って絞ったほうがよく絞れる。 処理場の設備や市販のものを使って、せめて場外搬出できる程度の含水率を確保できる方法を考えたい。